

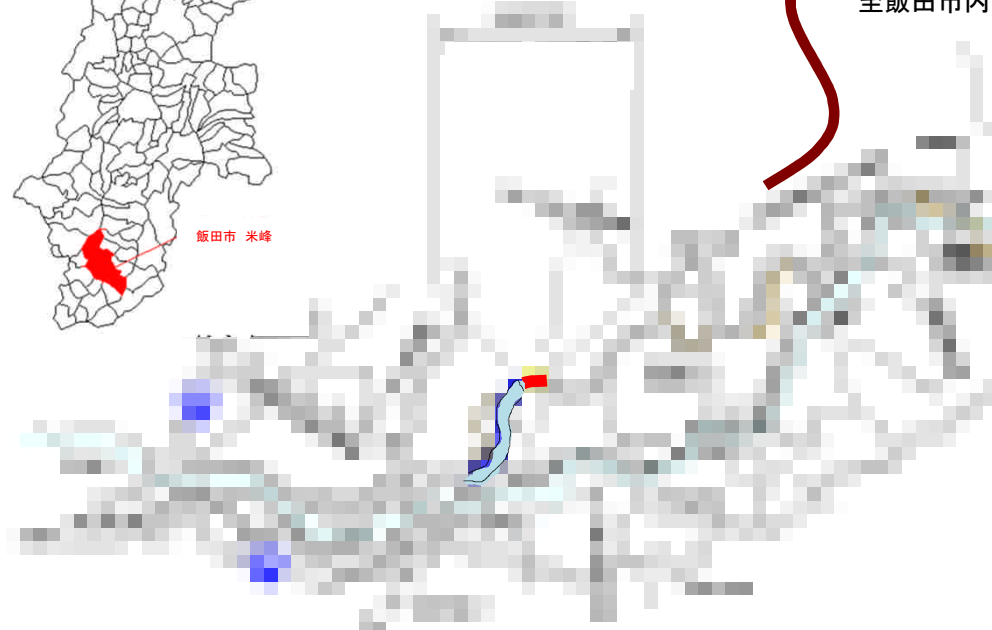
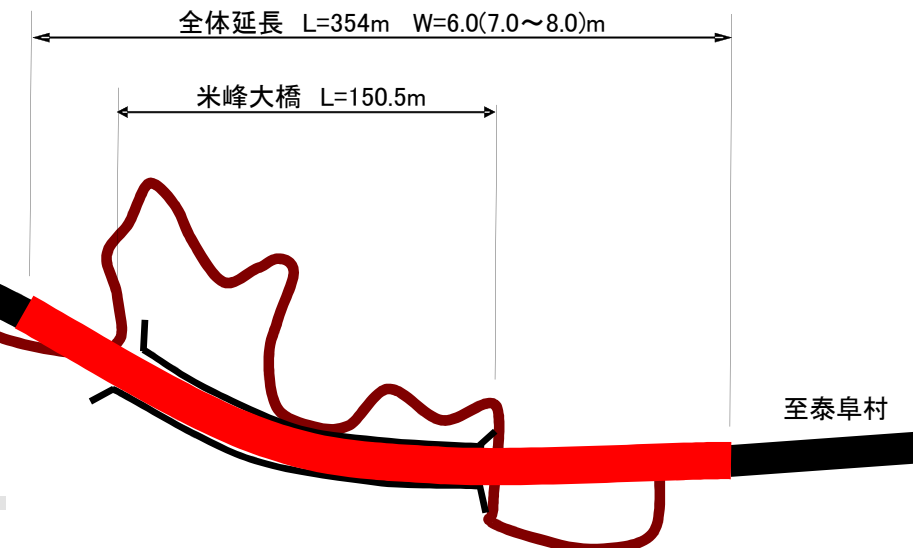
飯田建設事務所 道路事業による整備効果事例

平成27年(2015)3月17日
 飯田建設事務所 整備課
 (課長)木下 昌明 (担当)滝澤 達彦
 電話 0265-53-0451(直通)
 Email iidaken-seibi@pref.nagano.lg.jp

社会資本整備総合交付金事業 (主) 飯田富山佐久間線 飯田市 米峰

- 幅員4m~5mの急勾配・急カーブの連続の難所を改良することで交通事故の軽減になる。
- 震災対策緊急輸送路(第二次)に指定されていることから、東海地震の発生に備えた緊急輸送路の整備につながる。

事業概要
 全体延長 354m (橋梁 150.5m)
 橋梁形式:2径間 PCTラーメン箱桁橋
 事業期間 平成19年度~24年度
 事業費 約8億円
 標準幅員 6.0(7.0~8.0)m



費用対効果(b/c) 1.7

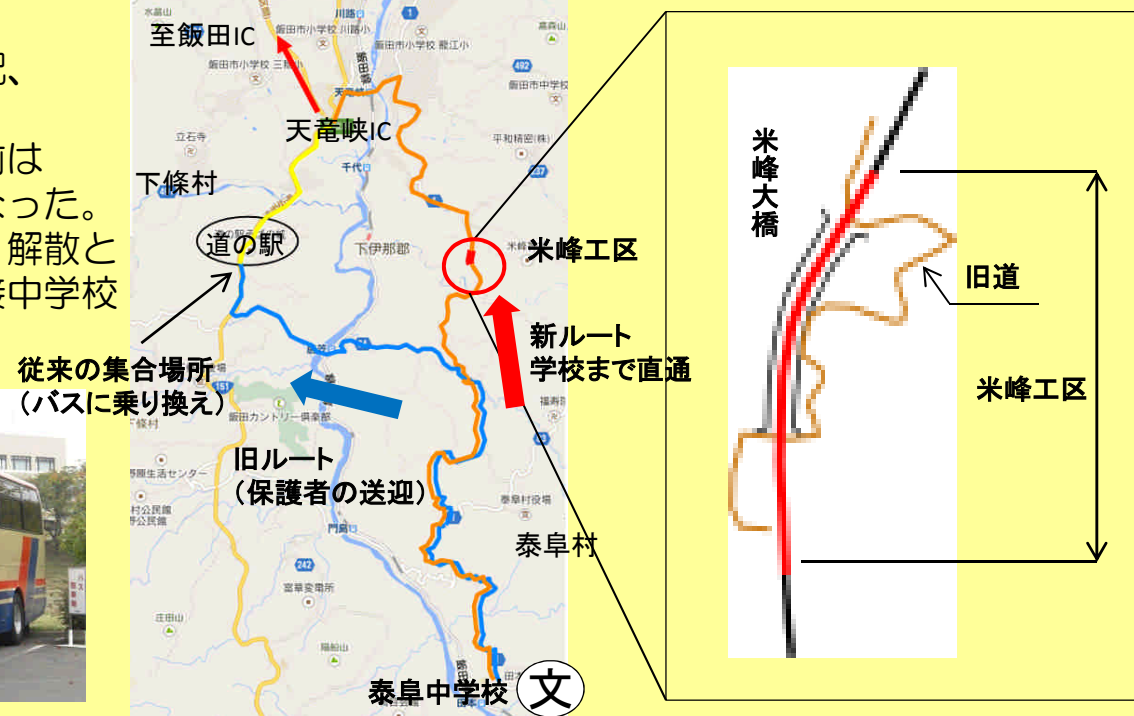
走行時間短縮便益： 10.93億円	事業費： 7.99億円
走行経費減少便益： 0.86億円	維持管理費： 0.08億円
交通事故減少便益： 2.19億円	
【便益合計： 13.98億円】	【費用合計： 8.07億円】

飯田建設事務所 道路事業による波及効果

社会資本整備総合交付金事業 (主) 飯田富山佐久間線 飯田市 米峰

【生活環境の向上】

- 米峰工区の開通により幅員の拡幅、急勾配、急カーブの改良がされ、移動時間の短縮、交通事故の減少につながった。また、以前は通行不能だった大型バスの通行も可能となった。このため、以前は下條村の道の駅に集合、解散となっていた泰阜中学校の修学旅行も、直接中学校までバスが来れるようになった。



【地域の周辺開発（産業など）】

- 2車線の道路が泰阜村中心部までつながったため、村内の観光施設を訪れる人が増えている。



「あいパークやすおか」の利用人数

